

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」令和3年度学園だより

とう 雲 稲 雲

第18号

令和4年2月2日発行

発行者：校長 小貫 崇高



○中学生による模擬議会～未来の須賀川市を展望する子どもたちの意見とは～

1月26日（水）、須賀川市の「中学生による模擬議会」に8年生の児童生徒会役員の2名が参加しました。

市内10校の中学生が参加し、中学生から見た須賀川市の「市政」「福祉」「教育」「環境」など様々な観点からの疑問を須賀川市長や市担当の方々へ質問していました。本校から参加した生徒からは、公共施設におけるトイレのバリアフリー化等について質問をしました。市長や担当部長から答弁があり、参加した2名の生徒は、議会で議論された内容が自分たち須賀川市民の生活に直接つながっていることを実感することができたと話していました。



○和楽器鑑賞体験教室～「本物の感動」を味わっています～



1月から2月にかけて、5～7年生の音楽の授業において、「和楽器鑑賞体験教室」を実施しています。三味線、箏（そう）、尺八といった日本の伝統的楽器の演奏を、録画や録音で鑑賞するのではなく、実際に目の前で演奏を聴き、実際に触って音を出してみようという、まさに「本物の感動」を味わうことができる体験授業です。特別講師の先生方のすばらしい演奏が校内に響き、授業を受けない児童生徒、そして教職員も日本の音楽に癒され感動しています。



○第6波でのコロナ対策・対応について

福島県では、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大にともない「非常事態宣言」を発出し、1月30日から2月20日まで、県全域に「まん延防止等重点措置」を適用しました。須賀川市においては、学校の行動基準における対応がレベル2に引き上げられ、感染リスクの高い教育活動を停止するなど感染対策を強化しています。

各ご家庭でも、今までも取り組んでいただきました下記のような感染防止対策と健康観察の徹底をお願いいたします。

- 家庭内外における感染防止対策（手指消毒・三密回避等）を徹底する。
- 登校前の検温・健康観察を徹底する。
- 発熱及び風邪症状等がある児童生徒は、登校せず医療機関で受診し休養する。その場合、必ず学校に連絡し、診断結果や今後の対応について相談する。
- 同居する家族が発熱及び風邪症状等がみられる場合も、児童生徒は登校を控え、まず学校に連絡し対応について相談する。
- 生徒が発熱等で受診しPCR検査を受ける場合、また同居家族がPCR検査を受ける場合や濃厚接触者になった場合も、必ず学校に連絡する。

※ 今回の第6波の対応事例から、職場や学校で濃厚接触者となっても、無症状の人はPCR検査を実施せず、自宅待機にする対応がなされています。待機期間は何日間なのか、待機期間後に症状がなければ登校してよいのか等、対応基準が示されないところもありますので、不安や不明な点がある場合には、ためらわずに学校にお問い合わせください。

○私立高校受験が終了⇒次は県立高校前期入試へ

2月1日（火）に日大東北高校の合格発表があり、本校生徒の私立高校受験は終了いたしました。残る進学関係の予定としては、3月3日（木）（※一部4日にも実施）の福島県立高校前期選抜試験になります。合格を目指して努力を続ける9年生には、コロナに注意しながら残り1か月の準備を計画的に進めていってほしいと思います。がんばれ受験生！！

★言葉と生きる（18） 県立高校前期選抜受験をめざす9年生へのエール

8年学年委員会の企画で、いよいよ来月に迫ってきた福島県立高校の前期選抜試験に向けて日々頑張っている9年生にエールを送るため、合格祈願の絵馬のような用紙に児童生徒や教師のメッセージを記入してもらい、掲示することになりました。ここでは、校長のメッセージを紹介します。私の熱い思いが9年生に伝わってくれたならうれしいです。

稲田学園 校長
小貫 崇明

あなたのための
未来がある
その未来のために
その未来をめざし
今、あなたが
ここにいます